

# 岐大通 2011



## シーズン初勝利！でも、締めがちょっとね...。 岐阜2-水戸【第09節】

久々の長良川での観戦。結果は勝利で仲間と喜びを分かち合いましたが、特に最終ラインの守備は課題アリアリですね。今後の取組みに期待しています。(ミスター珍道)

FC岐阜は長良川で水戸と対戦し2対1で勝利。前半に佐藤選手の後半に嶋田選手のゴールで2対0にする理想的な展開。失点はロスタイムでの1点。次の試合も勝利を。FC岐阜頑張れ！(ハマッチ)

連敗中のFC岐阜に対して、連勝中、しかも東日本大震災の被災地クラブとして強い気持ちで臨んでくる(であろう)水戸。対戦成績から言えば相性の良い相手だが、今回ばかりは勝手が違う厳しい試合になると覚悟していた。ところが、だ。試合開始2分にいきなり左サイドを染矢が切り裂き、クロスを西川がヘッド。シュートは惜しくもポストだったが、跳ね返ったボールを洗一が押し込んで、はやくも先制。試合開始早々に沸くスタジアム。

先制後も、面白いように攻める選手たち。左右のサイドを突破し、縦へ縦へと攻め上がり、その度に沸き上がる歓声。それ自体はとても良いことだし文句もないのだけれど、それじゃ今までの前半グダグダだったのは何だったのか...と思わずにいられない(苦笑)。やればできるじゃん！(笑)

後半に入っても、若干水戸のペースになる嫌な時間帯もあったが、大きな流れは岐阜のままで進む。そんな中、今度は右サイドで嶋田 西川のワンツーパスから嶋田のダイレクトシュートが逆サイドのネットに突き刺さる、見事な連携で追加点！またも沸き立つスタジアム。その後、相手に退場者が出たこともあり、試合を優位に進める岐阜。終了直前に1点を返されるが、そのまま逃げ切り、今季初勝利をホームで飾ることができた。

個人的には、初先発の三田光の役割が非常に効いていたように思う。これまでの試合ではボックス(2ポランチ)だった中盤をダイヤモンド(1ポランチ)気味にして、橋本が前目でボールをさばくことで攻撃にリズムが生まれていたし、サイドMFが攻め上がって空いたスペースを消していたのが素晴らしい。中盤を制覇できていたのは三田と橋本のバランスが良かったからではないだろうか。

また、今日はシュートの意識も高かった。合計18本と普段の約2倍の本数で、なんと今節のJ2でも最多。撃ってりゃいいというものでもないが、シュートを撃つことで攻撃にリズムが出てくるし、スタジアムも良い雰囲気になって声援が選手の背中を更に押すのだから、やはりシュートで終わることは大事だと思う。しかし、反省点もいくつか見受けられた。前半の押せ押せだった時間帯に2点目、更には3点目を決めていれば、もっと試合は簡単にいったはずだし、何より、最後の失点は余計だった。その後もバタバタして、最後のプレーも相手がシュートミスをしてくれなかったら、あわや同点にされてしまうところだった。こういった点はきちんと反省し、修正して欲しい。

とはいえ、やはりホームでの勝利は嬉しいし気持ちいいものだ。しかも、どンドン走って攻めてシュートを撃って、それで勝った試合なら尚更だ。こういう試合をホームで続けてくれたら、観客・リピーターも増えて、スタジアムの声援も大きくなるし、良い循環になるよなあ...としみじみ思った。だから、次のホーム戦でも、気持ちよく勝ってくれ、頼むよ！(ささたく)

ハマるとこうなるという試合。まさにそんな展開。PSMから開始直後の5分、10分は、まるで二トロでもかませたかのように怒涛の攻めを見せるのがお約束になってはいたが、この試合は80分までエンジン全開。やはり、その時間内に得点できたということが大きな活力になったのかもしれない。それと合わせて相手が水戸というのがよかったのかも？選手も監督も変わっているし、単なる偶然とは思いつつも、なぜか水戸との試合はイイ目が出る。根拠はないけど、相性というものはあるかもしれない。

とはいえ、この試合は全員がよく走った。ことに染矢はフルタイム走りきって「こんなんでもシーズン保つのかしらん？」と心配になるくらいだ。熊本戦の終了時の挨拶でも「オレはやりきった！」って顔してゴール裏に来てたもんなあ(笑)。

それでも、あの失点はいただけない。シャットアウトで勝たなきゃいけない試合だった。さらに、タイムアップ直前にあわやの場面を作られたのは猛省してほしい。決められなくてよかった.....。水戸の選手に感謝しなきゃ。あの場面は、水戸右サイド・コーナーポスト付近まで持ち込んでいたのだから、明弘はキープしておくだけでOK。ダメ押しを狙ったのだろうが、クロスを取られ九死に一生を.....な大ピンチを迎えてしまうのは今後は無しにしてください。80分までではなく、試合終了まで締まったゲームをお願いします。

それでも、悩めるエース・ストライカー洗一がゴールをゲットしたのは好材料！インタビュー後のバクスタへ向けた笑顔には吹っ切れたモノが感じられたし、今後は一昨年同様得点を量産して欲しいものです。そして、2点目の正吾のゴールは、この時点でおそらく今季のベスト・ゴール候補なくらいファンタスティックなゴールだった。優大のマイナスの折り返しも文句のつけようがない。優大は去年の経験も生かし(無意識のうちかもしれないけれど)、一回り成長したような気がする。あえて苦言を呈すれば、昨年、一昨年と比べると正吾はまだまだ活躍が足りない。アクセントになりきれないというか、目立たないというか。もっと、もっとできるはずなのでワクワクするような動きとゴールを楽しみにしています！

最後に。水戸に贈ったエールとダンマクには感激した。動いてくれた方々に感謝します。(ぐん、)

とにかく三田が効いてた。だって、三田が下がったら「見慣れた」岐阜に戻ってしまったもん(苦笑)。守備では彼が「いて欲しい所について」相手の攻撃入りを摘んでくれたこと、攻撃では開始数分で染矢と水戸・岡田(右SB)の勝負づけが済んでしまったこと。この2点が大きかった。

でも、本当は水戸の関係者やサポーターが「あの日の長良川は、もう思い出たくないっ！」と叫んでしまうくらい完勝にしたいわけなかったし、それが出来る試合だったのに。10人になった水戸に1点を返され、最後には同点にされかけてしまうなんて。シーズン初勝利は嬉しいけど、今年は前途多難だという印象はまだ変わらない。そんな試合だった(吉田铸造)。

### today's guest

### 東京ヴェルディ

2010 J2第5位  
J2通算対戦成績 :0勝2分3敗

2010成績  
第0節 10/04/18 岐阜0-0東京V

第2節 10/08/29 東京V2-0岐阜

2009成績  
第1節 09/05/02 岐阜0-0東京V

第3節 09/08/02 東京V3-0岐阜

第4節 09/10/07 岐阜1-0東京V

### 2010J2 順位表 第1節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点)

1	栃木	10p	+4	8	4
2	千葉	09p	+6	8	2
3	湘南	07p	+5	6	1
4	鳥栖	07p	+3	6	3
5	鳥取	07p	+2	3	1
6	水戸	07p	+1	5	4 H
	徳島	07p	+1	5	4
8	熊本	07p	+1	3	2 A
9	富山	07p	0	4	4 A
10	草津	06p	0	4	4
11	愛媛	06p	-1	5	6
12	大分	05p	0	4	4 H
13	FC東京	05p	-2	1	3
14	京都	04p	-1	3	4
15	北九州	04p	-2	3	5
16	札幌	04p	-2	1	3
17	岐阜	03p	-2	3	5 --- ---
18	横浜FC	03p	-3	3	6
19	岡山	02p	-6	3	9
20	東京V	01p	-4	2	6

## 次回 HomeGame

### 第1節 徳島ヴォルティス戦

5/22(日) 19:00  
@岐阜メモリアル  
センター長良川競技場

### 投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)  
5/8号  
編集発行:『岐大通』製作委員会  
今号の製作担当:ささたく&吉田铸造

編集子より  
ご愛顧いただきありがとうございます。  
今シーズンも「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願ひ致します。



本庄工業株式会社  
http://www.honjo-woodream.com/

# 「週ナカ」のアウェーはまたしても…。 富山 1-0 岐阜【第1節】

FC岐阜はアウェイで富山と対戦し0対1で敗戦。アウェイで相手に先制されると厳しいか。なんとか苦しくても勝ち点1をつかみとる力をつけてほしい。次の試合こそ勝利を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

前節の勝利で気が抜けてしまったのか、走り負けていた感じがしました。それから、あいかわらずの決定力の無さは深刻ですね。果たして、今の選手達にやる気があるのかとかなり懐疑的です。今日のような試合を続けていたら、お客さんが来なくなって上位どころかすぐに経営危機ですよ！ウチ以上に経営が上手くいっていない水戸がいい結果を残しているのだから、資金不足とか言い訳になりませんよ！言い訳がましいコメントはいらぬから、悔しかったら結果出してみろ！と思います。（ブラウ）

ハマらないとこういう試合になる。まさに、そんな展開。連休ということもあって、東海北陸自動車道の渋滞を乗り越え、ひいき目に見ても富山ゴール裏と変わらないくらい集まった岐阜サポーター。このスタジアムもホーム、とばかりにダンマクを張り巡らし、今季の新チャントで飛び跳ね、腕を振って選手を鼓舞したつもりだったが、残念ながら昨年を引き続き勝ち点をお土産にすることは叶わなかった。聞くところによると、富山は昨年8月以来ホームで未勝利だったとか。その勝利をプレゼントしたのが他ならぬ岐阜……。なんとまあ、面倒見のよいことが（苦笑）。今度の長良川ではキッチリお返しをさせてもらいたいものだ。

さて。冒頭に書いたが本当にハマらないことが多い試合だった。走りが足りない、とは言わない。しかし、前節の水戸戦を見ているだけにどうしても物足りなく映るし、途中でボールを追うのを諦めるシーンが数回あって、力が抜けかけた場面もあった。確かに、富山のシステムは斬新で対応にも苦労しただろう。縦も横も同数で並んでいるので、ボールをもらっても数的不利な形になってしまい、いろいろフラストレーションも溜まっただろうことは想像に難くない。ことに前半はキツかっただろう。ただ、だからこそ、地道に粘り強い対応を心がけてほしかった。その結果、それぞれの思惑がズレてきて、スペースに走り出したのに元いた場所にパスが来たり、裏を狙ってほしかったのに足元へのパスを待っていたり、チグハグな場面のオンパレード。実にイージーなクリアミス、パスミスからのピンチを迎えたのは何度目だろうか？失点シーンを始めセットプレーで相手をどフリーにするケース、ほとんどがボール・ウォッチャーになっているケースを無くすことは、そんなに難しいことなのか。お互いが「もしかしたら？」という危機感を持って、オフ・ザ・ボールの動きを増やしてほしい。

「相手より多く走る。」これができないと岐阜は苦しい。確かにキツく厳しいことだとはわかっているし、個人がシーズンをやり通せるとは思わない。だけど、同じ選手がやり通せないことは監督も承知のうえのハズ。ベンチに入らない選手も含めて全員で、いろんなケースを想定しながら練習を重ね、ハマらない時の耐える術を覚えてほしい。苦しくても勝ち点を挙げる術を身に付けてこそ結果がついてくるのではないだろうか。もちろん、苦しい時に少しでもパワーを与えられるようボクも出来る限りやらなきゃならない。また、長良川でやり直そう！

それにしても、今季の染矢ってとんでもなくよく走ってるなあ。その反面、得点したけど正吾がいまいち効いていないような気がする。要求のハードルが高いかもしれんが、正吾の奮起を切に望む！（ぐん、）

水戸戦の勝利から中3日で迎えた東海北陸ダービー。連勝すれば勝率を五分に戻せるし、順位も大きく上がることが期待できる大事な試合。アウェイの富山戦にはあまり良い記憶がない（特に昨年は先制逆転再逆転されて2-3で敗戦）が、水戸戦の時のような勢いがチームにあれば大丈夫...と思っていた。実際、試合の立ち上がりはそんなに悪くなかったと思う。開始早々には染矢の惜しいシュートが枠を叩き、得点の匂いをさせてくれた。しかし...その後単純なバックパスの処理ミスでピンチを招いてからは、チームは完全にリズムが悪くなったような気がした。パスも精度が悪く繋がらなくなるし、動けなくなる。せっかく奪ったボールも不用意に再度奪われてピンチを招くシーンが続く。理由はいろいろ考えるだろう。風が強かったためか、ピッチコンディションのせいなのか、それとも中3日で身体が重かったからなのか。しかし、それらの悪条件は富山も同じハズだ。両チームで何が違うのかと頭を抱えてしまう展開だった。

とりえず水戸戦と違ったのは、中盤の三田と橋本の連携が良くなかった（あるいは富山に抑えられてしまっていた）のと、守備陣からのロングボールがトップ2人に当たっていなかったことだろう。守備もバランスが悪かった。スタメン自体は水戸戦と同じだったが、敵の#黒部対策のためか、秋田と野垣内が内外で入れ替わっていたのがバランスを崩してしまった理由かもしれない。

リズムが悪くなると、悪循環を起してしまうのが今年のチームの悪い癖だ。中途半端にボールをはたいて奪われたり、せっかくゴール前に攻め込んでもシュートを撃って終わろうとする積極性が出せなかったり。ボールを貰うため、あるいは奪うために走れなかったり。なんとかが0-0のまま、前半は終了。これまでの経験からすると、前半の内容が悪くて後半持ち直すパターンが今年のFC岐阜（苦笑）なので、後半の修正に期待していた。しかし、どうも今節は後半になってリズムが悪く、流れを掴めない。西川に替わって押谷が投入されるが、まだコンディションが上がっていないのか、どうも動きが鈍い。これはマズイな...と思っていた62分、カウンターで攻め込まれて撃たれたシュートをポストに当たり、こぼれたボールを敵M朝日に押し込まれ、得点を許してしまう。黒部でも荅口でもなく、またしても朝日大輔。昨年の先制弾&再逆転弾も彼に決められた。あいつは「岐阜キラー」か...と思わずにはいられなかった。

先制されて点を取り返そうと選手達も動きが良くなって来るが、どうも噛み合わない。何度が惜しいシーンを作るが、決めきれずに試合終了。富山は昨年8/11にウチに勝って以来、ホームで勝っていなかったのだとか。何とも悔しい敗戦となった。

チーム全体として動きが悪かった中で、染矢は前後半通して良く走り回っていて、気持ちが感じられた。ただ、もう少し動きに工夫が欲しいのと、審判に食って掛かるシーンが多いのが気になる。審判を敵に回しても良いことは無いのだから、気持ちを上手く切り替えられるようになれば、もっと良くなるような...

さて、今節の相手は東京V。まだ未勝利で最下位にいるが、今までウチが勝っていない相手。再び中3日でコンディションが非常に厳しいが、GW連戦をホームで勝利して気持ちよく締めくくろう！（ささたく）

## 【ユース】GWの2試合は快勝！

我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は現在日本クラブユース(U-18)サッカー選手権東海大会を戦っています。5月1日(日)に浜松市にて尾張クラブとの試合が有りましたので観戦に行ってきました。

試合会場となったホンダ細江グラウンドは本来素晴らしい天然芝のグラウンドですが、この日は昼前から降り始めた雨の為にピッチは一面水溜り状態。思いつき蹴ったボールもグラウンダーだとすぐ停まってしまうような悪コンディションで、正直「こんな状況で「サッカー」が出来るのか？」と思ってしまうような状態でした。

でも選手達はそんな悪条件を物ともせずボールを上手くコントロール。FC岐阜ユースの選手がセカンドボールを拾いまくり、ボールをルーズしてもすぐに相手選手を追いかけ取り返すガッツを何度も見せ、試合の主導権を握り続けて、殆どハーフコートマッチ状態。見事「FC岐阜ユース5-0尾張クラブ」で完封勝ちを収めました(パチパチパチパチ)。彼らの戦いぶりは本当に頼もしく、そして安心して観戦する事が出来る物でした。

そして5月5日(木)にも名古屋市でERDEとの対戦が行われました。残念ながら観戦には行けませんが、情報によると12対0での完勝！リーグ戦を5チームでやっているの消化試合数に違いあり、まだ確定はしていませんが、得失点差等も考えると1次リーグの通過をほぼ確定させたと言って良いでしょう。

FC岐阜ユースの1次リーグ戦のラストは5月14日(土)に愛知FCと名古屋市の港サッカー場で対戦します。愛知FCは昨年同大会の1次リーグを1位通過している強豪チーム。楽な試合にはならないでしょうが、勝って2次トーナメント進出を自力で確定して貰いましょう。FORZA!FC岐阜ユース!!(シュナ)

# ALADDIN

何も無い店だけど・・・  
心の花が咲く・・・  
何も無い店だけど・・・  
心癒される・・・  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休：日曜日(今日はお休みです)

